

いわた 文化財だより 第219号

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和5年6月1日発行

目次

- 浜部遺跡・浜部古墳群発掘調査が完了しました！
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1～2
- ふるさと歴史たんけん隊 隊員募集！！ ・・・ P3
- 6月6日から後期展示がはじまります！ ・・・ P4
- コラム『歴史文書館の企画展に乞うご期待！』
石津由行 P4

はまべ 浜部遺跡・浜部古墳群発掘調査が完了しました！ ～磐田市最南端の古墳群を調査～

市道改良工事に伴い、令和3年度に続き令和4年11月から12月まで、浜部遺跡・浜部古墳群の発掘調査をおこないました。今回は令和4年度の発掘調査成果を紹介します。

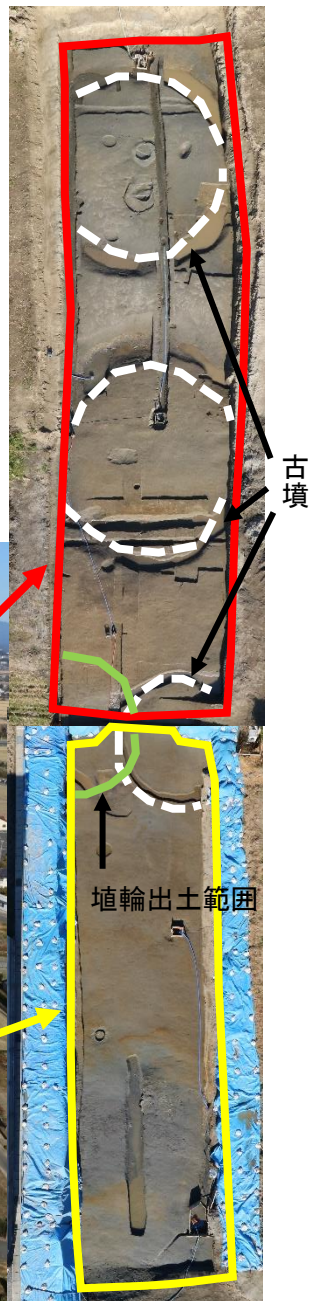
浜部遺跡・浜部古墳群とは

昭和30年代に、土器が出土したことで発見された遺跡です。令和3年度の調査で、古墳時代後期（約1550年前）の古墳基と土器（須恵器）などがみつき、新たに浜部古墳群として遺跡の登録をおこないました。

浜部古墳群は、磐田市最南端の古墳群で、市内の古墳は、磐田原台地上に造られることが多いなかで、海岸付近の砂堤地に造られた珍しい古墳群です。

今回の調査

調査区は、令和3年度の調査区の南側340㎡です。令和3年度の調査区南端で見つかった古墳の続きが今回の調査区北側で見つかったほか、古墳の上層からは、中世の溝や井戸なども見つかりました。

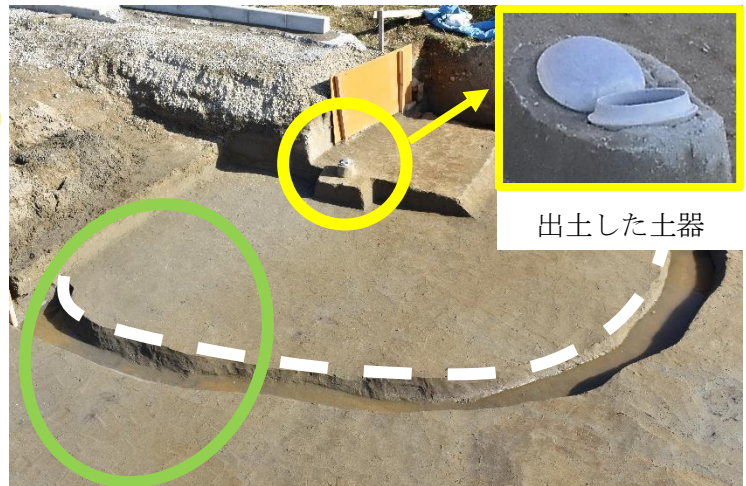


調査地点航空写真（南から）令和4年12月10日撮影（黄色：令和4年度 赤色：令和3年度）

磐田市内最南端の古墳から はにわ 須恵器と埴輪が出土！

今回、調査区の北側で見つかった古墳は、令和3年度調査で検出した古墳の周溝の続きで、直径約10mの円墳であることがわかりました。周溝の検出面での規模は、幅約60cm、深さ約20cmでした。古墳の中心部からは、完形の土器（須恵器）が2つ見つかりました。

また、古墳の北西部では、埴輪片が多数出土しました。埴輪は、古墳を飾る大型の焼きものです。今回見つかった埴輪片は、朝顔形埴輪の一部で、令和3年度調査区南側で見つかった埴輪片と同じ個体であると考えられます。



出土した土器

周溝が見つかった様子（上が北東）
白色：古墳 緑色：埴輪出土範囲



埴輪片



埴輪片は、○で示した部分の破片と考えられます。

<参考>

朝顔形埴輪
（堂山古墳【東貝塚】出土）
高さ約80cm

中世の溝や井戸を発見！

調査区北側で見つかった溝は、東西方向に延びる溝で幅約1.2m、深さ40cmを測り、土地を区画する溝と考えられます。この溝の中からは、鎌倉時代の碗などが多数見つかりました。また、井戸が3基見つかりました。井戸からは、木の皮で作られた井戸目（いどめ）とよばれる、井戸底で使われる部材が出土しました。

当時、浜部の人たちが器や井戸を使って生活していたことがわかりました。



溝から土器が出土した様子



出土した碗や皿

調査現場で記録した図面や写真などの整理や、調査で見つかった土器や埴輪片は、今後の接合と復元作業などを進めていき、浜部古墳群がどのような遺跡であったのか調べていきます。



井戸の底から見つかった井戸目

ふるさと歴史たんけん隊 隊員募集!!

市内小学校5・6年生を対象に、磐田の歴史を楽しく学べる講座を開催します。今年度は、企画展の見学や歴史探検、土器・勾玉まがたま作りなどをおこないます。
ふるさと磐田の歴史を“見て”“聞いて”“体験しよう”!

★募集人員 市内の小学5・6年生 15名
(応募多数の場合は抽選とし、結果は7月23日までに連絡します)

★参加費 2,000円(5回分)

★申込方法 右の二次元コードまたは市HPから電子申請

電子申請での申込ができない場合は電話にてお問合せください



二次元コード

受付期間 6月23日(金)～7月10日(月)まで

★活動予定(全5回)

※感染症の状況や天候等により、中止または内容変更になる場合があります

回	とき	ところ	内容
1	8月4日(金) 9:15～11:30	埋蔵文化財センター 中央図書館	企画展見学、埋蔵文化財センターをたんけんしよう!
2	8月17日(木) 9:15～11:30	埋蔵文化財センター	土器や埴輪をじっくり見よう! (観察・スケッチなど)
3	9月30日(土) 9:15～11:30	埋蔵文化財センター	古代人の気分になって、土器を作ってみよう!
4	11月18日(土) 9:15～11:30	銚子塚古墳・長者屋敷遺跡・ 米塚古墳ほか	寺谷周辺の歴史たんけん!
5	12月16日(土) 9:15～11:30	埋蔵文化財センター	市内から出土した勾玉を見て、オリジナルの勾玉を作ろう!

★活動の様子(写真は昨年度までのものです)



企画展見学



土器づくり体験



勾玉づくり体験

《問合せ》文化財課 磐田市見付 3678-1 埋蔵文化財センター内
TEL 0538-32-9699 FAX 0538-32-9764

6月6日から後期展示がはじまります！



現在、磐田市香りの博物館で開催中の企画展の後期展示がはじまります。

後期では、家康から拝領した「太刀 銘成高」（県指定文化財）を展示します。また、前期に引き続き、伝酒井の太鼓や軍扇なども展示しています。ぜひ、この機会にご来場ください。

- 会場 磐田市香りの博物館（磐田市立野 2019-15） ●電話 0538-36-8891
- 入館料 一般 310 円、学生（高校生以上）200 円、小・中学生 100 円 ※各種割引あり
- 開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分（入館は午後 5 時まで）
- 休館日 月曜日 ●公式サイト <https://www.iwata-kaori.jp>



撮影：佐野美術館

「太刀 銘成高」（県指定文化財／個人蔵）

職員リレー コラム

歴史文書館の企画展に乞うご期待！

石津 由行

歴史文書館では、毎年、当館所蔵の古文書等を公開する企画展を開催している。昨年度は、大河ドラマ「どうする家康」の放映に伴い、市内における家康ゆかりの地である、中泉御殿にスポットを当てて開催した。来館数は、過去最高となり、とても好評であった。

さて、今秋、開催する第 27 回企画展では、昨年、世界かんがい施設遺産に登録された『寺谷用水』、この役割や歴史について古文書ボランティアの協力により発行した天竜川・寺谷用水普請関係史料などにより紹介する。

世界かんがい施設遺産は、国際かんがい排水委員会が登録要件を示している。対象は、建設から 100 年以上経過し、かんがいを主目的とした分水施設や水路などで、登録基準は、かんがい農業の画期的な発展構想、設計、施工、規模など当時としては先進的なもの、卓越した技術であったものなどとなっている。

寺谷用水は、1588 年、遠江国を治めていた家康から治水と水田開発の命を受けた伊奈備前守忠次（後の中泉代官）が地元の武将であった平野重定（後の寺谷村近郷 3,000 石の代官）に指揮を執らせ、寺谷村から浜部村まで（約 12km）整備したのが起源。この用水完成により



寺谷大塚樋

「寺谷用水開祖 350 年記念資料」より転載

新たに開田された 400ha を含め、2,000ha の水田を潤すこととなった。重機がない当時、あばれ天竜を相手にわずか 2 年で完成させた大事業。ち密な計算と的確な指示が不可欠である。指揮を執った平野重定は、寺谷用水土地改良区近くの大円寺に葬られ、毎年、命日である 10 月 8 日に例祭が執り行われている。今年は、没後 400 年にあたり、400 年祭が予定されている。今回も工夫を凝らした展示を計画しているので乞うご期待！

編 磐田市香りの博物館で開催中の企画展では
集 家康の愛した香りも展示中です。実際に香
後 りを体験することも出来ます。ぜひ、会場
記 でお楽しみください。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB 版は市 HP から閲覧できます。磐田 文化財だより



検索